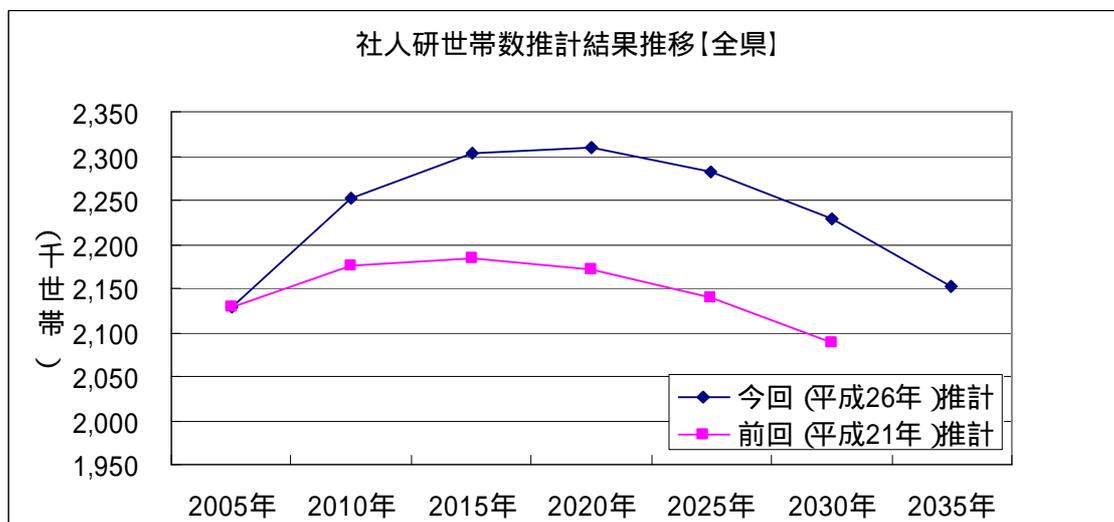
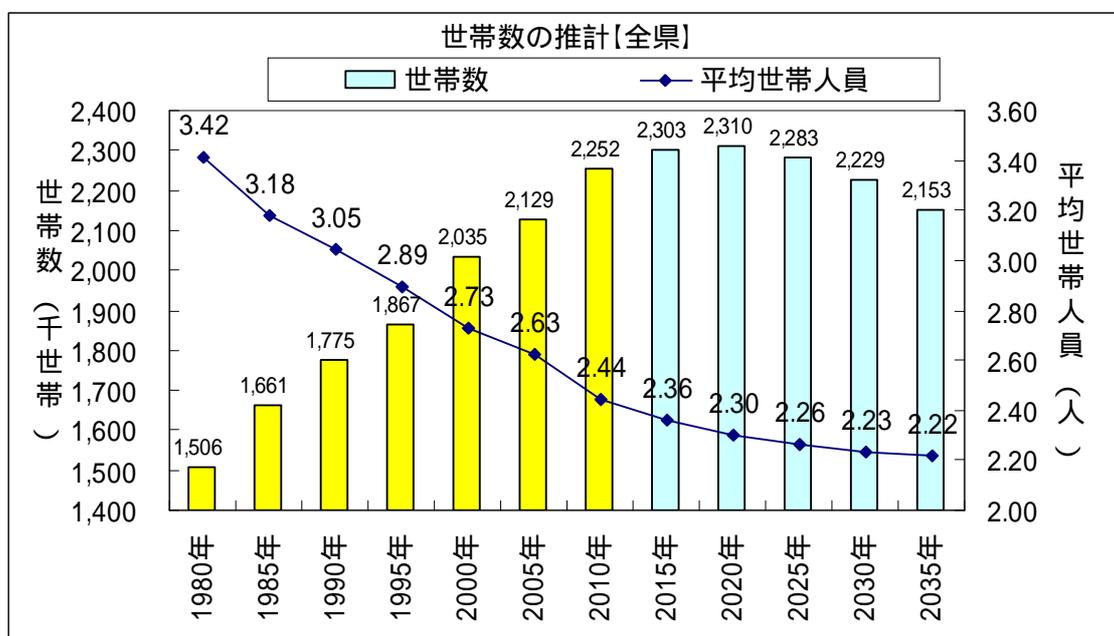


## 兵庫県将来推計世帯数について

### 1 総世帯数及び平均世帯人員

#### (1) 概要

- ・ 本県の世帯数は今後も増加するが、2020年頃をピークに減少局面に入り、2035年には2010年より99千世帯少ない2,153千世帯（約4%減）となる。
- ・ 平均世帯人員（1世帯当たり世帯人員）は減少を続け、2010年の2.44人から2035年には2.22人となる。
- ・ 平成21年12月に発表された社人研推計では、総世帯数が2015年をピークに減少局面に入ると推計していたが、今回は、核家族世帯や単独世帯数の増加を背景とした総世帯数の増加基調が当面続くものとし、2020年をピークに減少局面に入ると推計している。



## (2) 家族類型別の世帯数及び割合

### <夫婦のみの世帯>

- ・ 2010年の475千世帯から2020年に503千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には467千世帯となる。世帯総数に占める割合は21%~22%程度で変化は少ない。

### <夫婦と子からなる世帯>

- ・ 2010年の687千世帯から2035年には527千世帯に減少する。世帯総数に占める割合は30%から24%に低下する。

### <ひとり親と子からなる世帯>

- ・ 2010年の204千世帯から2030年に250千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には248千世帯となる。世帯総数に占める割合は9%から12%に上昇する。

#### (世帯主が男の世帯)

- ・ 2010年の51千世帯から2035年には77千世帯に増加する。世帯総数に占める割合は2%から4%に上昇する。

#### (世帯主が女の世帯)

- ・ 2010年の153千世帯から2025年に176千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には171千世帯となる。世帯総数に占める割合は7~8%程度で変化は少ない。

### <単独世帯>

- ・ 2010年の681千世帯から2030年に797千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には789千世帯となる。世帯総数に占める割合は30%から37%に上昇する。

#### (男の単独世帯)

- ・ 2010年の330千世帯から2030年に370千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には364千世帯となる。世帯総数に占める割合は15%から17%に上昇する。

#### (女の単独世帯)

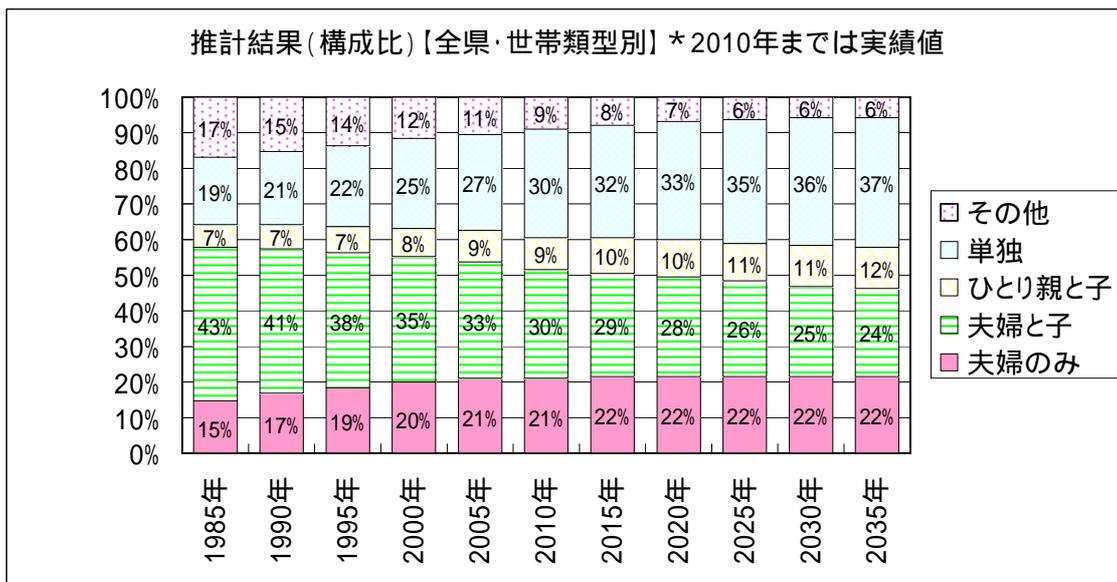
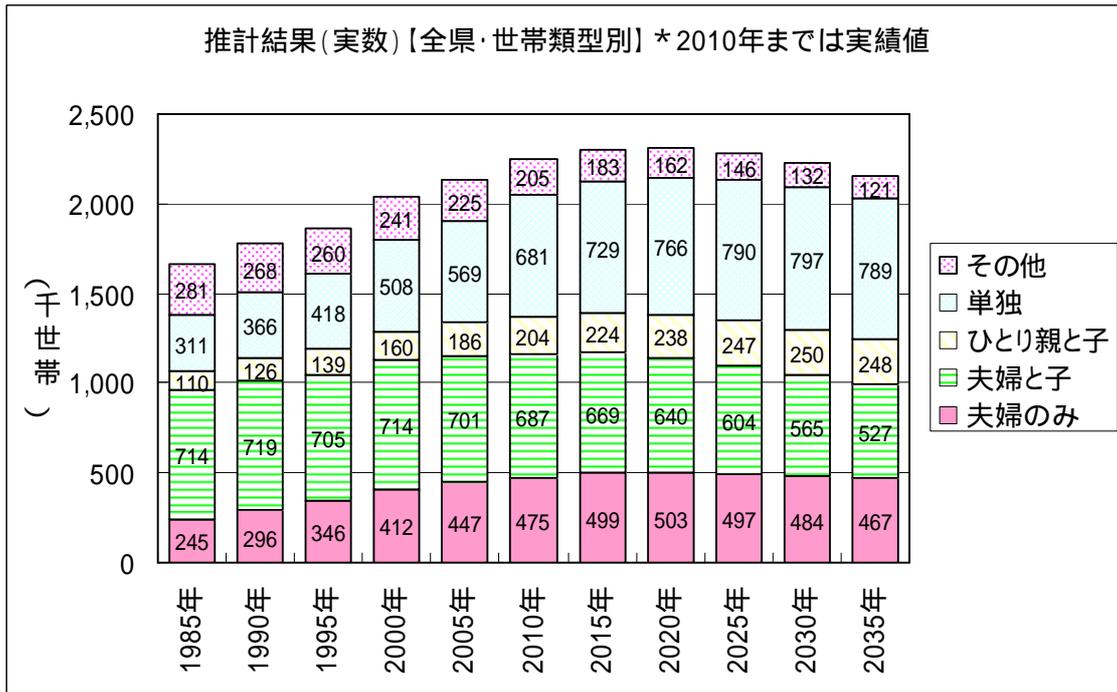
- ・ 2010年の351千世帯から2030年に427千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には425千世帯に増加する。世帯総数に占める割合は16%から20%に上昇する。

### <その他の世帯<sup>1</sup>>

- ・ 2010年の205千世帯から2035年には121千世帯に減少する。世帯総数に占める割合は9%から6%に低下する。

---

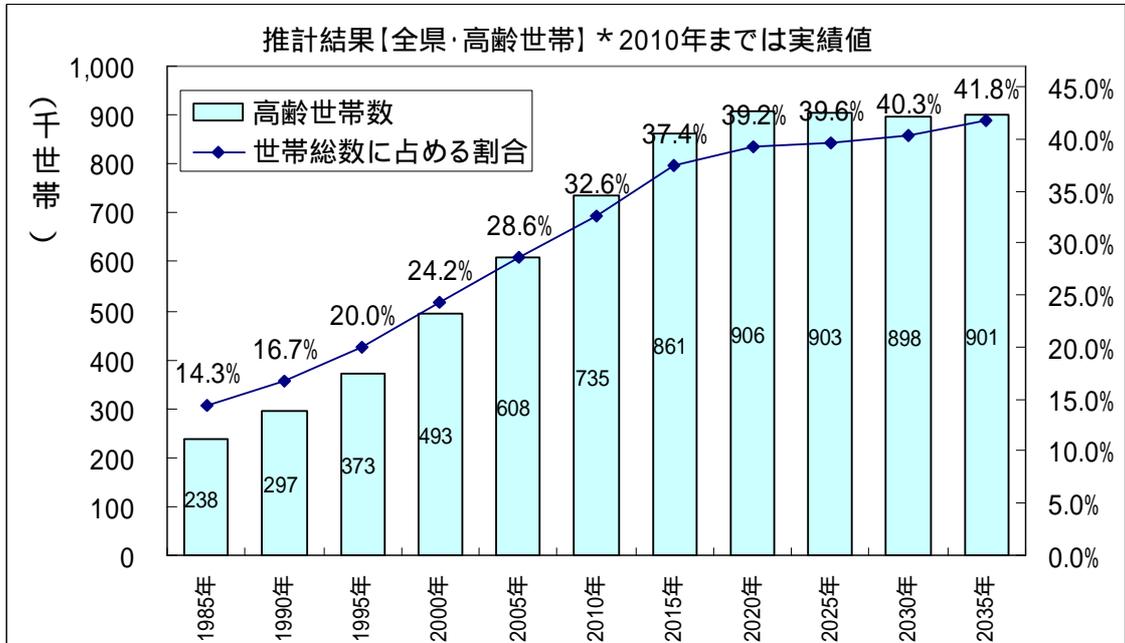
<sup>1</sup> 「その他の世帯」の区分に含まれるのは、夫婦・子とひとり親からなる世帯、夫婦・子と両親からなる世帯、夫婦とひとり親からなる世帯、夫婦・子と他の親族(親以外)からなる世帯、夫婦・子・親と他の親族からなる世帯、等、世帯主と親族関係にある世帯や、お互いに親族関係にない者同士である男女が2人のみで同居している場合、世帯主と住み込みの雇い人の場合、別々に生計を営む2人が1つの住宅を共同で使用している場合(いわゆる「ルームシェア」など)等、2人以上の世帯員からなる世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯である。



	世帯総数	核家族世帯				単独世帯		その他の世帯
		夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子		世帯主:男	世帯主:女	
				世帯主:男	世帯主:女			
実数(単位:世帯)								
2010年	2,252,497	474,992	686,677	51,182	153,156	330,494	350,515	205,482
2015年	2,302,752	498,984	668,607	58,137	165,464	348,195	380,714	182,652
2020年	2,310,143	503,247	640,054	65,166	173,197	361,590	404,594	162,294
2025年	2,282,962	496,762	603,817	71,072	175,897	369,144	420,451	145,819
2030年	2,228,524	484,159	565,197	75,132	174,553	370,012	427,103	132,369
2035年	2,152,924	466,983	527,361	77,197	170,884	364,376	425,012	121,112
構成比								
2010年	100.0%	21.1%	30.5%	2.3%	6.8%	14.7%	15.6%	9.1%
2015年	100.0%	21.7%	29.0%	2.5%	7.2%	15.1%	16.5%	7.9%
2020年	100.0%	21.8%	27.7%	2.8%	7.5%	15.7%	17.5%	7.0%
2025年	100.0%	21.8%	26.4%	3.1%	7.7%	16.2%	18.4%	6.4%
2030年	100.0%	21.7%	25.4%	3.4%	7.8%	16.6%	19.2%	5.9%
2035年	100.0%	21.7%	24.5%	3.6%	7.9%	16.9%	19.7%	5.6%

(3) 高齢世帯

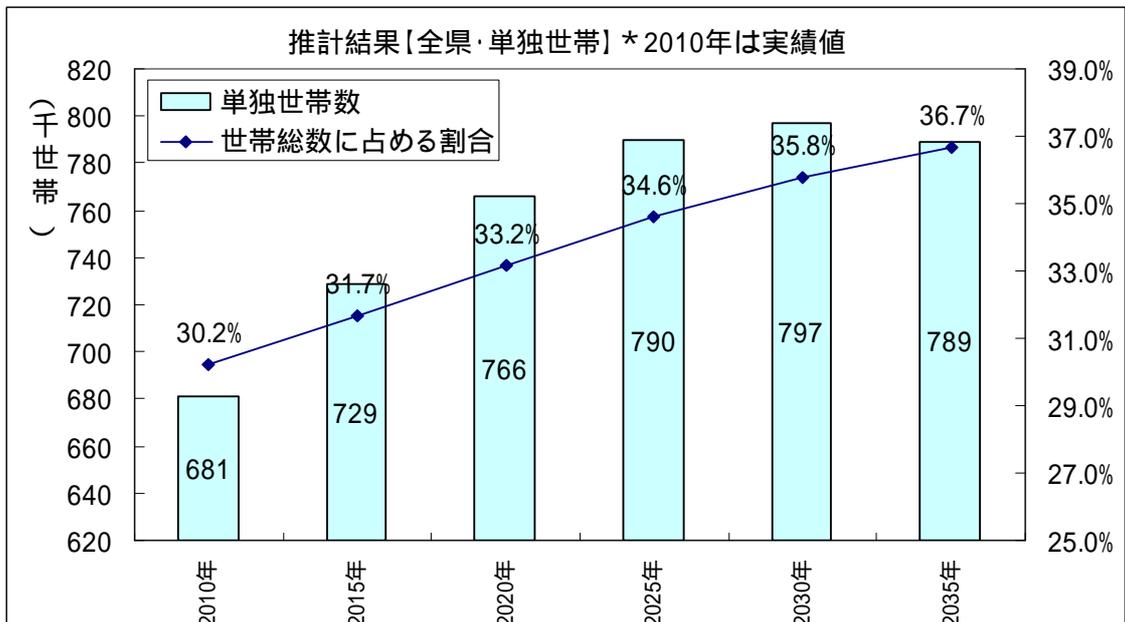
- ・ 世帯主が65歳以上の高齢世帯は、2010年の735千世帯から2020年に906千世帯まで増加した後、一旦減少に転じ2030年には898千世帯となるが、2035年には再び増加し901千世帯となる。世帯総数に占める割合は32.6%から41.8%に上昇する。



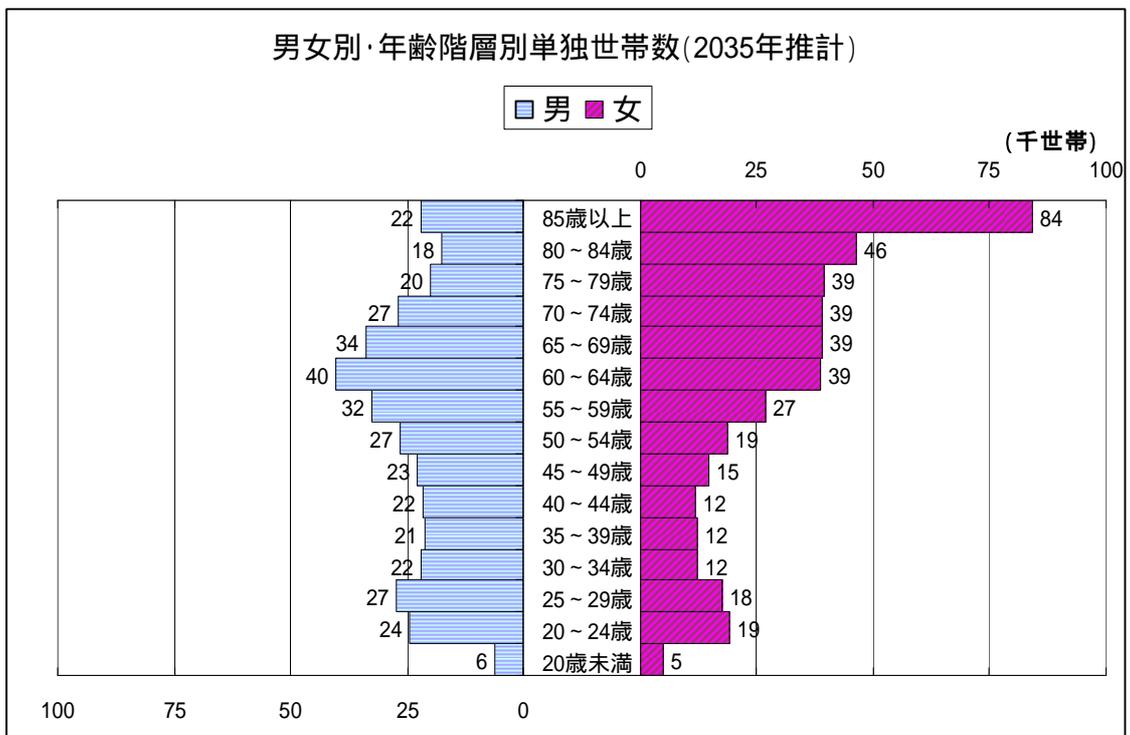
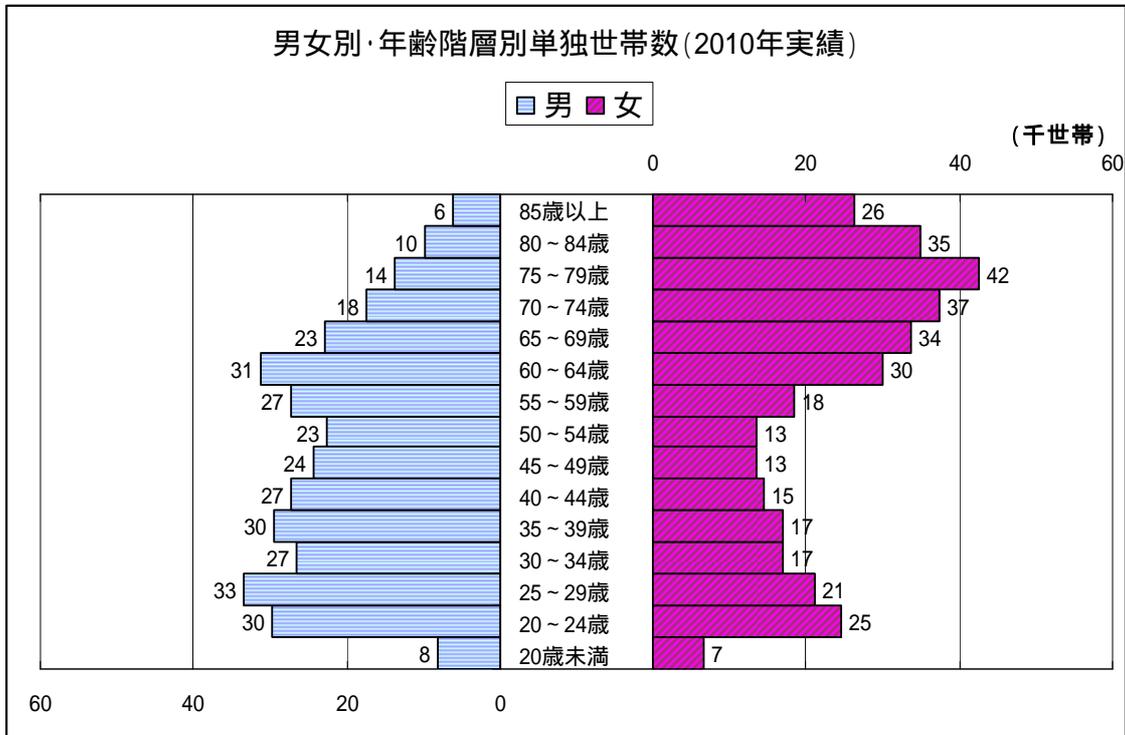
(4) 単独世帯および高齢単独世帯

< 単独世帯 >

- ・ 2010年の681千世帯から2030年に797千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には789千世帯となる。世帯総数に占める割合は30.2%から36.7%に上昇する(再掲)。

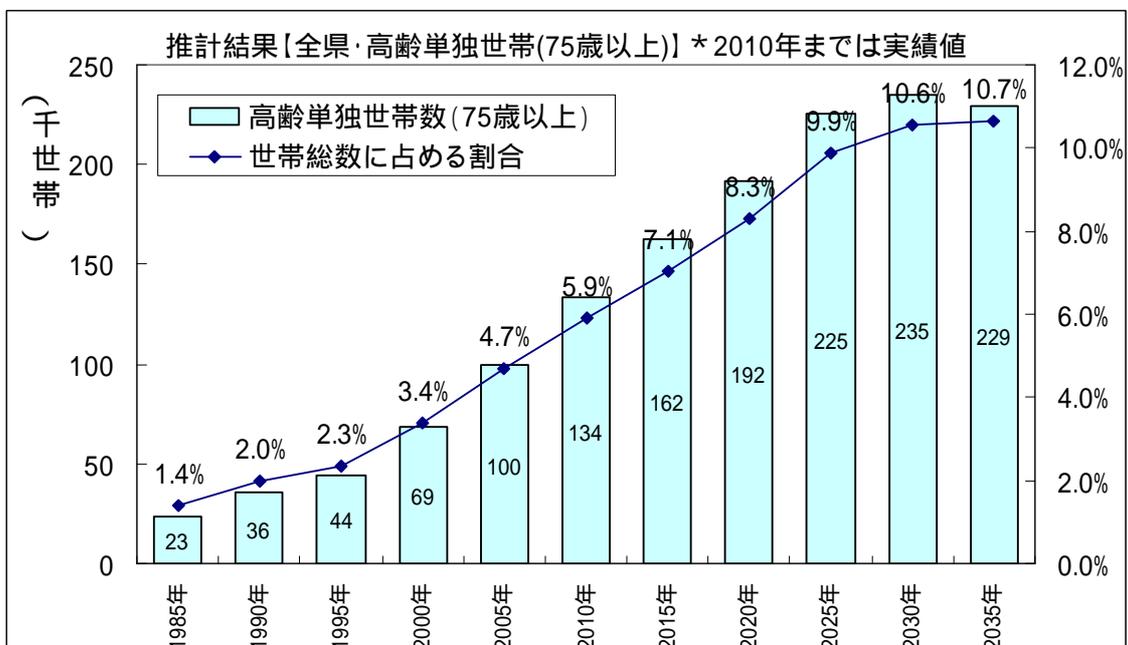
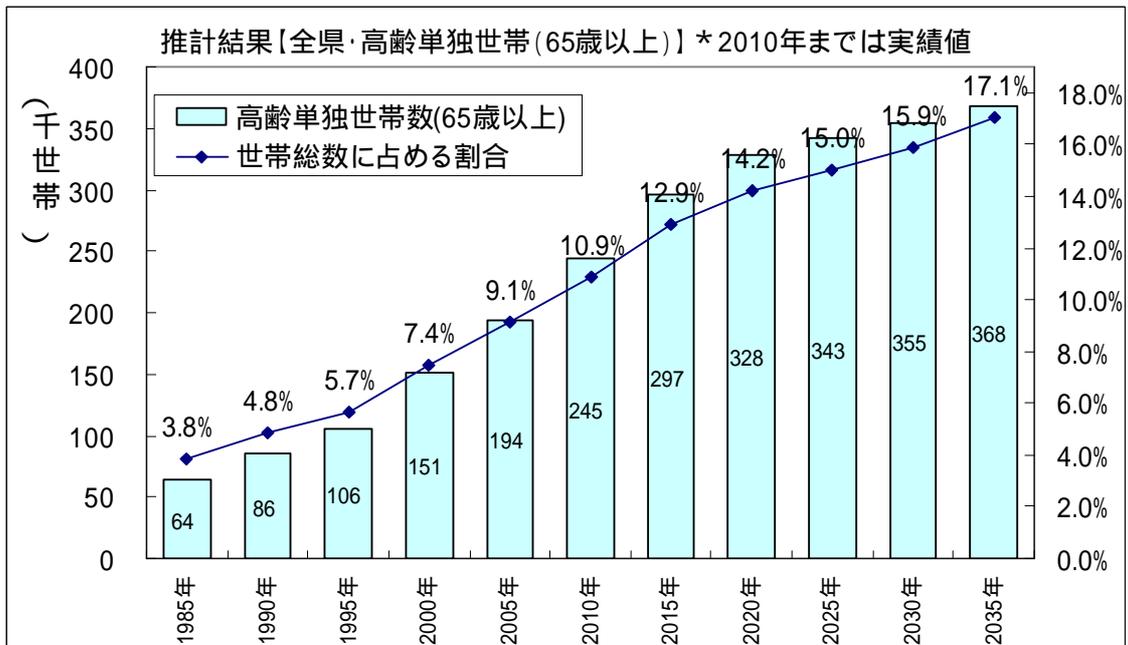


- ・ 2010年と2035年の単独世帯数を比較すると、男女とも若年層の世帯数は減少し、高齢世帯数が増加する。
- ・ 2010年と2035年の単独世帯数を比較すると、男女とも85歳以上の世帯数は増加し、特に女性の単独世帯数の増加が著しい。



### < 高齢単独世帯 >

- ・ 65歳以上の高齢単独世帯は、2010年の245千世帯から2035年には368千世帯に増加する。世帯総数に占める割合では10.9%から17.1%に上昇する。
- ・ 75歳以上の高齢単独世帯は、2010年の134千世帯から2035年には229千世帯に増加する。世帯総数に占める割合では5.9%から10.7%に上昇する。



- ・ 65歳以上の男の高齢単独世帯は2010年の70千世帯から2035年には120千世帯に増加、65歳以上の女の高齢単独世帯は2010年の175千世帯から2035年には248千世帯に増加する。
- ・ 75歳以上の男の高齢単独世帯は2010年の30千世帯から2035年には60千世帯に増加、75歳以上の女の高齢単独世帯は2010年の104千世帯から2035年に174千世帯まで増加した後減少に転じ、2035年には170千世帯となる。

